

「今日に満足し、明日を楽しみに待つ学校生活」を共に！

香川県立香川中部支援学校のホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和36年、中国・四国で初めての障害のある児童生徒の学校として設立された香川県立養護学校を源としています。その後、養護学校義務制に伴い、昭和54年、知的障害のある児童生徒を対象とした香川県立香川中部養護学校として開校いたしました。平成2年には、早期教育の充実のため幼稚部が設置され、4つの部から成る現在の姿になりました。令和5年度から校名が「香川中部支援学校」になり、新設された香川県立小豆島みんなの支援学校の中に、本校の高等部分教室も設置されました。

また、本校には、島しょ部をはじめとする通学困難な児童生徒のために寄宿舎が設置されており、舎生は、集団生活を通して、寄宿舎指導員の支援のもと、社会的自立に向けた力を身につけています。

学校は、子どもたちの生活で、ご家庭に次いで長い時間過ごす場所です。安全・安心は、子どもたちの成長の基盤であり、自己肯定感は、成長の推進力です。友達や教員と共に精一杯活動するなかで、「みんなから愛される」「ほめられる」「自分で成し遂げる」「支援を求めて一緒に成し遂げる」「人の役にたつ」「人から必要とされる」など、様々な心地よさを経験し、味わってほしいと思っています。保護者や関係機関の皆さんと連携し、『今日に満足し、明日を楽しみに待つ』学校生活づくりを通して、一人ひとりの子どもの「今日よりイケてる明日の自分」、「なりたい自分」を叶えていけるよう取り組んでまいります。

今後とも、本校の教育活動に一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

香川県立香川中部支援学校

校 長 藤田 明 